

お知らせ 第1回 地球温暖化の仕組み

地球規模の気候変動をもたらし、人々の暮らしや自然環境に大きな影響を及ぼすと考えられる地球温暖化。近年、全国各地で自然災害が増加し、今後さらなる頻発化、激甚化が予想されています。市内でも、台風やゲリラ豪雨などの影響により、土砂崩れや橋の倒壊など、甚大な被害を受けています。

このような時代背景を踏まえ、市では、環境基本計画および地球温暖化対策実行計画を策定し、市民、事業者の皆さんと共に、積極的に対策に取り組んでいきたいと考えています。

地球温暖化はどのような仕組みで起こるの？

地球温暖化は、CO₂（二酸化炭素）などの温室効果ガスが増えすぎて、宇宙へ逃げていくはずだった熱が大気中にももってしまうことで起きています。近年、このCO₂が増えすぎてしまい、太陽からの熱がうまく逃げず、地球の大気に熱がこもってしまっています。



▲橋の倒壊(新堀-野々宮地内)



▲土砂崩れ
(高麗本郷地内)

温室効果ガスとは？

熱を逃がさない性質を持つ7種類の気体で、その大半をCO₂が占めています。

地球温暖化はこうして起きる！

地球の大気には、CO₂という温室効果ガスが含まれています。このCO₂の性質により太陽からの温かい熱を適度に保つことで、地球の気温も保たれています。

CO₂はなぜ増えているの？

CO₂は、火力発電所などで石炭や石油といった化石燃料を燃やすことで大量に発生します。現代では、私たちの暮らしに電気は欠かせないものとなり、火力発電所などでたくさんの化石燃料を燃やして電気を作っています。

また、木や草は、光合成によってCO₂を吸収してくれる働きがありますが、世界各地で木が産業のために切り倒され、貴重な吸収源が減っています。これもまた、CO₂が増える原因になっています。

次回は、「地球温暖化による影響」についてです。
問い合わせ 環境課生活環境担当

お知らせ 合併処理浄化槽の維持管理

10月1日は浄化槽の日です。浄化槽が果たす役割を再認識し、適正な維持管理について見直してみませんか。

浄化槽管理者は、浄化槽が正常に機能しているか総合的に確認するため、毎年定期検査を受けなければならないことが、法律で義務付けられています。この定期検査は、保守点検や清掃とは別に受検することが必要で、県が指定した検査機関(埼玉環境検査研究協会 ☎048-649-1151)が行います。検査機関に直接お申し込みください。

問い合わせ 環境課生活環境担当



合併処理浄化槽維持管理補助金は、合併処理浄化槽への転換推進期間満了に伴い、令和3年度から廃止となりました。

生活排水による河川などの公共用水域の水質保全のために、引き続き浄化槽の適正な維持管理にご協力ください。